



一般社団法人

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

大丸有スマートシティプロジェクトのご紹介

令和5年度官民連携プラットフォーム

2023年6月26日（月）

大丸有エリアの紹介



エリア面積

約 **120** ha



上場企業本社

約 **107** 社



連結売上高

約 **122** 兆円



事務所

約 **4,300** 事務所



就業者数

約 **280,000** 人



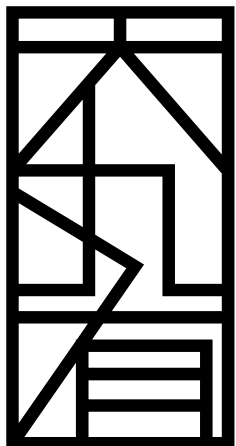
鉄道

28 路線 **13** 駅

※一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会2018より

乗降者数117万人/日

大丸有協議会について



設立

1988年 大丸有地区再開発計画推進協議会
(2012年 一般社団法人へ移行) →大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会へ

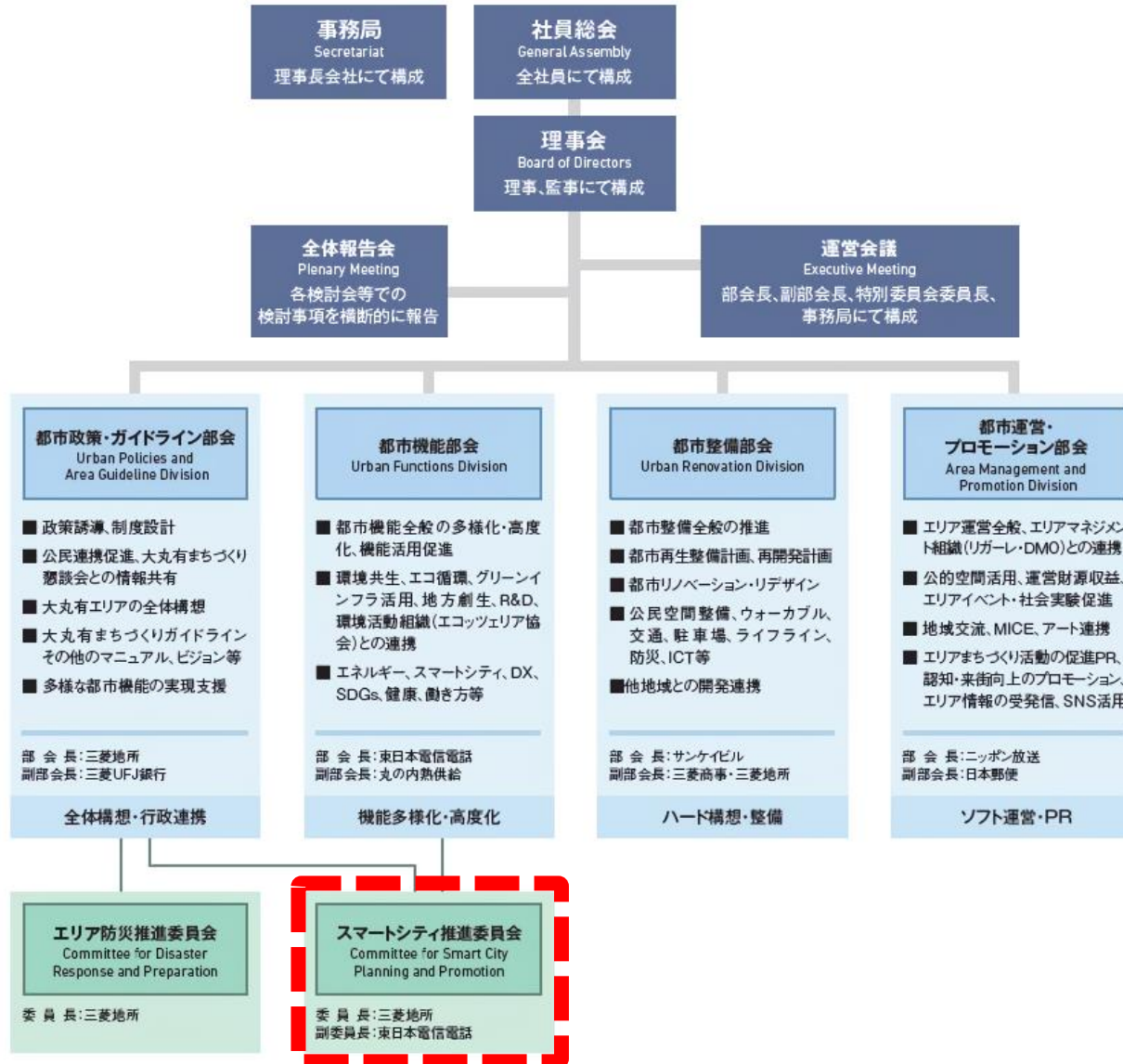
目的

大手町・丸の内・有楽町地区において、**企業・団体及び行政等のまちづくりに係る主体との連携**を図り、**都市空間の適切かつ効率的な開発、利活用**等を通じたまちづくりを展開することにより、当地区の付加価値を高め、**東京の都心としての持続的な発展**に寄与する。

構成員

地区の地権者企業・団体等 (2018年現在87社)

推進主体



2022年度版体制より

大丸有スマートシティ全体方針

ガイドラインと共にあるスマートシティビジョン・実行計画（2020年3月コンソ策定）

持続可能な運営モデル検討会を経て、エリマネDX方針も公開（2022年3月）

まちづくりガイドライン

大丸有地区の最上位の指針として、「将来像」「ルール」「整備手法」等を示すもの

大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくりガイドライン 2020
2021年3月改訂
(大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり懇談会)



<まちづくりの目標>

- 1 時代をリードする国際的なビジネスのまち
- 2 人々が集まり賑わいと文化のあるまち
- 3 情報交流・発信のまち
- 4 風格と活力が調和するまち

- 5 便利で快適に歩けるまち
- 6 環境と共生する持続可能なまち
- 7 安全・安心なまち
- 8 新技術やデータを活用するスマートなまち
- 9 地域、行政、来街者が協力して育てるまち

2030SDGs達成

Society 5.0



ビジョン・実行計画 エリマネDX方針

大丸有地区におけるスマートシティの
取り組みの大きな方向性を記載

大手町・丸の内・有楽町地区
スマートシティビジョン・実行計画
2020年3月策定
(大丸有・丸の内・有楽町地区スマート
シティ推進コンソーシアム
※千代田区・東京都・協議会で組成)



エリマネDX方針
2022年3月策定
(持続可能なスマートシティ
運営モデル検討会)



実行計画詳細版

大きな方向性と各取り組みのルール・ガイド
ラインをブリッジする計画
2030年の達成目標に向けてスマートシティ
として推進する3領域を定める

実行計画 詳細版 ver2.0
2022年5月策定
(大丸有・丸の内・有楽町地区ス
マートシティ推進コンソーシアム)



実行計画 詳細版 概要

2030年の達成目標

- ・ スマートシティ・アイテム
- ・ ルール・プランメイキング
- ・ エリマネ・コアバリュー

※データ利活用型エリアマネジメントモデルを実現させる
ヒト・モノ・カネ・情報 などリソースプランニングの概要

各ガイド・方針

スマートシティの各取り組みについての
ルール・ガイドライン等を定める
(大丸有・丸の内・有楽町地区ス
マートシティ推進コンソーシアムとして
公表)

リ・デザインロードマップ
2021年7月策定

都市空間の将来像仮説「リ・デザイン
像」を、実験やシミュレーションを通じて実
証・検証し実現していくための取組方針
を時間軸とともに整理したロードマップ。

センサーマネジメント方針
2021年7月策定

エリア全体の最適なデータ収集のための
センサー・IoT環境を、データが最も有効に
活用されるための連携の仕組みと共に検
討・整理した方針書。

技術ガイド ver.1.0
2022年3月策定

大丸有地区スマートシティのサービスの
開発指針及びアーキテクチャの指
針やガイドラインを技術観点別に整
理したガイド

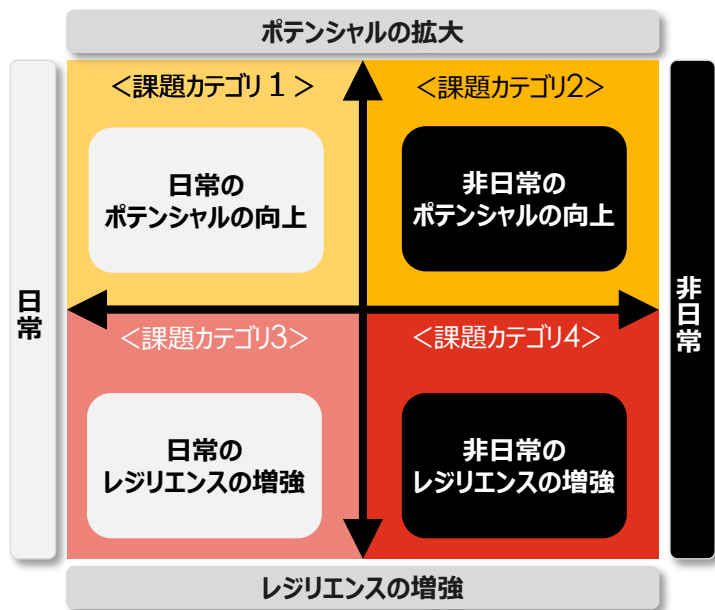
...

区域の発展的課題と都市のアップデートとリ・デザイン

スマートシティ化のあたり、日常・非日常における、ポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強を軸におき、解決すべき課題を「発展的課題」として定めるとともに、これらを解決し、街の価値を高めるべく「既存都市のアップデートとリ・デザイン」取り組みの方向性として設定した。

<ビジョン・実行計画における区域の発展的課題>

日常・非日常における、ポテンシャルの向上・レジリエンスの増強という観点でスマートシティ化により解決すべき課題を「区域の発展的課題」として見出し取り組む。



カテゴリ1には健康や交流活性化、2にはMICE、3にはバリアフリー、4には防災、1~4すべてにかかるモビリティという風に、ユースケースにおけるテーマが位置付けられる。区域の発展的課題もスマートシティ化により進展。

<2つの方向性によるアクション>



エリア価値の向上のイメージ（エリマネDX）

都市のアップデート



WEBやアプリを通じて
都市空間や都市サービスが
きめ細かく臨機に提供され、
ひとりひとりの行動や
気持ちをかえる



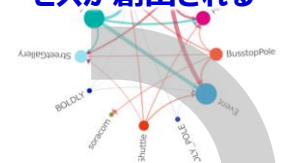
ヒトやモノからデータをとって可視化や分析・
シミュレーションができる

（位置情報・WEBやアプリの
利用ログ・カメラ・センサー・ロボット…）

都市OSによりデータの組み合わせが容易に。
再現性の高いデジタルツイン環境がシミュレ
ーション精度・機能を高める。



もっと共感・理解を得られる
エリアや施策の課題がよくわかるから、
次のアクションがもっとよくなる、
新しいサービスが創出される



都市のリ・デザイン

空間上の新たな活動主体が
新しい体験や価値観・行動を生む
（ロボット、自動運転車等）

MaaS
モビリティ

防犯
セキュリティ

観光
地域活性化

まちの景観やまちでできる
体験がもっと充実する

働き方改革
生産性向上

健康増進

物流・施設
維持管理

エネルギー
環境

各種サービス/実証の全体概要

方向性と本日のご紹介

<2つの方向性によるアクション>

都市のアップデート

都市のリ・デザイン

データやデジタルデバイスを通じて都市の価値を高める都市のアップデート



創造性・快適性・効率性

WEBやアプリ、スマホやPC...

個別サービス/
ソリューション層

共通機能
(サービス)

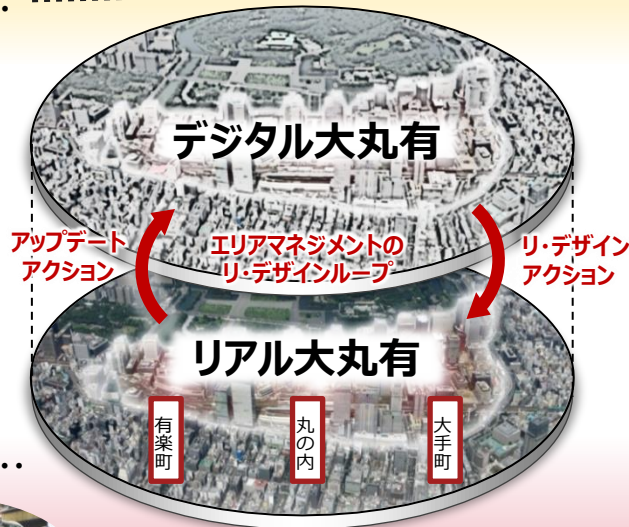
デジタル
ツイン基盤

データ利活用基盤

データ層

物理層
(エリア施設・活動)

モビリティ・ロボット・センサー...



誰もが快適に安全・安心に
街の魅力を連続的に体験・楽しむ
交流・出会いの拡大

リアルな都市空間でSmart & Walkableを実現する都市のリ・デザイン

ご説明

提供する実証サービス(都市のアップデート)

■ Oh! MY Map !

- ✓ 移動回遊ver
- ✓ スムーズ地下・防災ver
- ✓ 車いすバスケット選手とまちをめぐるワークショップ
- ✓ ロボット/モビリティ実証実験における位置情報のアプリ連携

お手元の携帯からアクセスください！

大手町・丸の内・有楽町地区リアルタイム回遊マップアプリ
『Oh MY Map！』



アプリ『Oh MY Map! ~移動回遊ver~』（2021年度）

R3年度 国土交通省総合政策局/日本版MaaS 推進・支援事業

期間： 2021年12月15日(水)～2022年2月28日(月)

実証： 『大手町・丸の内・有楽町地区リアルタイム回遊マップアプリ』
→ (通称) 『Oh MY Map! ~移動回遊ver~』

検証： 魅力的なラストハーフマイルエリア(魅力的な移動・活動の選択肢にあふれた徒歩圏)を構築し、エリア内の回遊性向上や都市活動・滞在を促進することを目的に実証。
大丸有版都市 OS と MaaS データ統合基盤を連携・統合することで、エリアの施設情報やイベント情報と東京メトロや丸の内シャトル、電動キックボード LUUP のポート情報やドコモ・バイクシェアのシェアサイクルステーション情報を 1 つのアプリの Map 上で閲覧が可能となった。

= 概要 =

提供者：一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

関係者：株式会社MaaS Tech Japan

三菱地所株式会社・株式会社NTTデータ（協議会スマートシティ推進委員会企業）

BOLDLY株式会社、東京地下鉄株式会社、日の丸自動車興業株式会社、

株式会社Luup、株式会社ドコモ・バイクシェア

アプリ配信方法：協議会アカウントを開設し、ストアから配布

※2022/2/28午前時点アプリダウンロード数

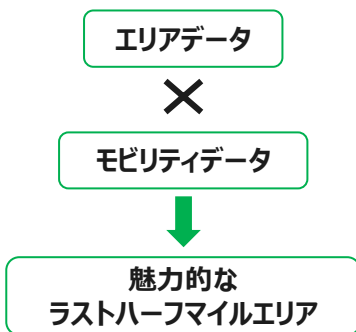
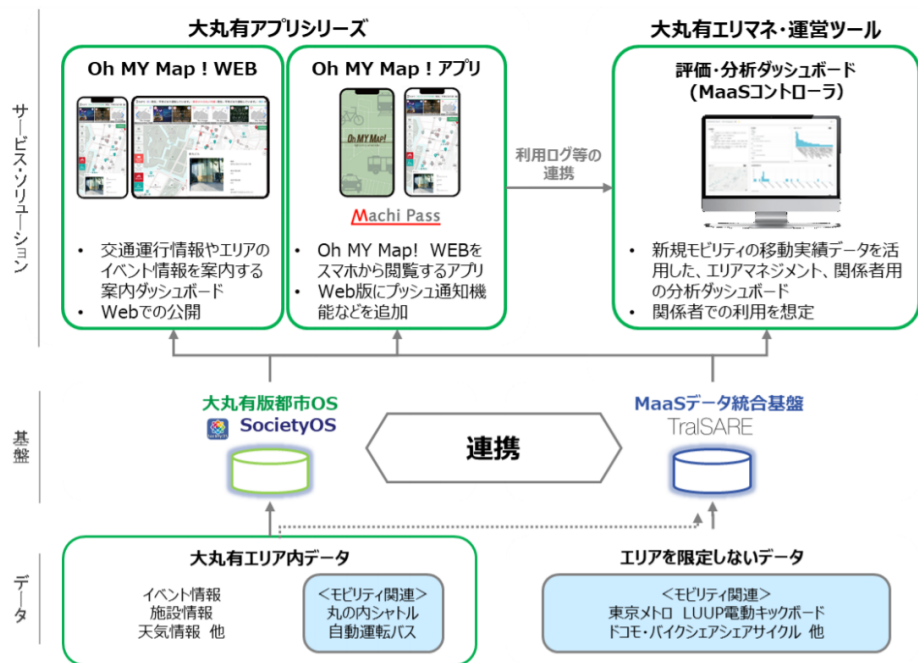
ios...820件 Andoroid...166件

※2022/2/28午前時点Web

アクセス数...15385件 ユニークユーザー数...1694人



ダウンロードはこちら



アプリ『Oh MY Map! ~スムーズ地下・防災ver~』（2022年度）

R3年度補正 国土交通省都市局/スマートシティ実装化支援事業

期間： 2022年9月1日(木)～提供開始

実証： (通称)『Oh MY Map! ~スムーズ地下・防災ver~』

■ 提供するエリア情報

移動 回遊の バリア フリー

- ・段差・傾斜情報として街歩き注意箇所を写真と共に掲出
- ・バリアフリー法第17条認定建築物の表示（東京都オープンデータ）
- ・車いす対応ルート表示（随時更新中）
- ・トイレ位置及び属性情報（おむつ替え・オストメイト等）公開
- ・東京駅周辺の丸ビル・新丸ビル等、数か所については身障者用トイレの満空情報をリアルタイムで表示

地下

- ・エリアデジタルマップとしての地下空間位置情報の提供
- ・マップの拡大縮小が可能に
- ・地下から地上への出入り口（地上に上がるエレベーター等）を強調表示

防災

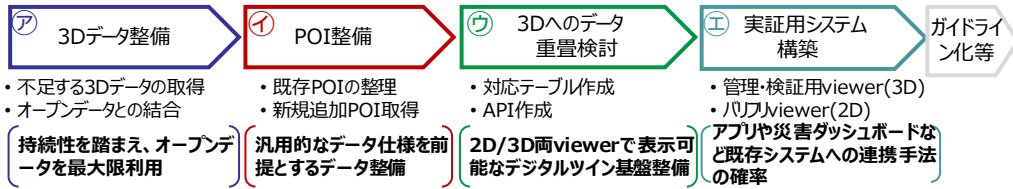
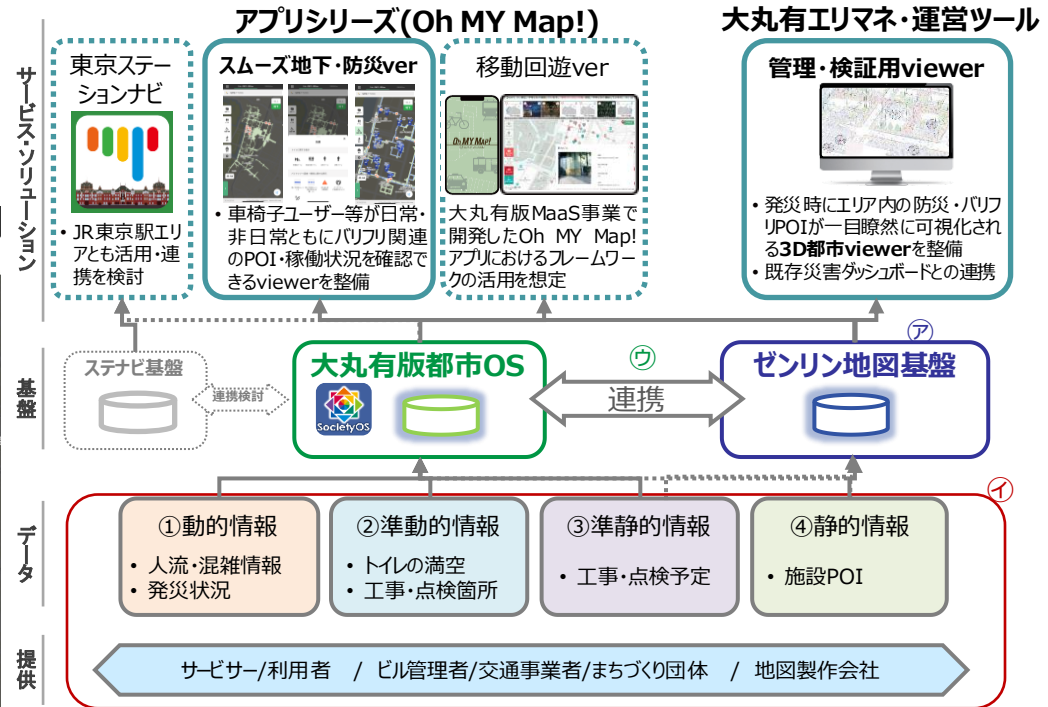
- ・防災にかかる外部リンク集や東京駅のライブカメラリンクを表示
- ・災害時退避場所の表示（千代田区公開PDFより）
- ・丸の内ビジョンの場所の表示（災害時にNHK放送あり）
- ・今後災害ダッシュボードなどの避難情報とも連携予定（22年度も期間限定で連携）

その他

- ・各ビルや名称や営業時間等を表示（フロア図が公開されている場合はURLリンク）
- ・通路利用時間や工事等で利用不可・封鎖（行幸地下等）情報も随時反映予定



ダウンロードはこちら



【取組結果】

- ・都市OSを活用して、バリアフリー・地下・防災・その他情報を重畳したマップを構築（国土交通省都市局「スマートシティ実装化支援事業」）
- ・エリアでのロボット・モビリティ実証と連携して、アプリ上に表示

車いすバスケット選手とまちをめぐるワークショップ

アプリを活用した、まちめぐりワークショップを開催

日程/場所: 2022年12月7日(水) /DMO TOKYO Marunouchi

主催者: 大丸有まちづくり協議会、PwCアドバイザリー合同会社

- ・PwC Japan CAチーム (車いすユーザー)
- ・PwC アドバイザリー + 広報サポート
- ・アプリ関係者

参加者:

- ・大丸有まちづくり協議会 スマートシティ推進委員会 (三菱地所・NTT データ/Four Digit)
- ※第2部のみ
- ・協議会関係者・ACT5 事務局・リガレ・エコツツエリア協会



第1部 フィールドワーク (まち巡り+振り返り)

まち巡り



振り返り



- まち巡りのポイント
- ✓ 可能な限り地下を通る
 - ✓ 車椅子選手の意向・普段の意思決定を尊重したルート選定

←Oh MY Map!
スムーズ地下・防災ver



第2部 ワークショップ (3.11体験談・意見交換・質疑)

3.11体験談



- 意見交換のポイント
- ✓ 通ったルートのバリアフリー観点での感想
 - ✓ 感じたことや新たな気づき
 - ✓ Oh MY MAP! スムーズ地下・防災verの使用感

意見交換・質疑



ロボット/モビリティ実証実験における位置情報のアプリ連携

ロボット自動搬送・販売実証実験

期間： 2022年12月～2023年2月

検証：

- 公的空間の無人走行に向けた事前走行検証の実施により、丸の内仲通り等における自動走行ロボットと人が共存したまちの実現に向けた課題の抽出
- 将来的な複数台走行を見据えたエリア全体の自動走行ロボット等の位置情報等の可視化、共通してモニタリングする高度な都市運営の在り方



実証実験の様子

新しい低速自動走行モビリティ実証実験

期間： 2023年2月日(金)～22日(火)

検証：

- 低速自動走行モビリティの公共空間における走行実現性（丸の内仲通りにおける低速自動走行モビリティと人が共存した街の実現に向けた課題抽出）
- 観光・MICEとの親和性（来街者に提供する体験価値の把握、観光・MICE時のモビリティのユースケース事例創出）



実証実験の様子

■ アプリとロボット走行位置情報の連携

【利用者】

エリアマップにて走行状況等の情報をリアルタイムで把握可能

【エリアマネ】

将来的には複数台・複数社のロボット・モビリティ走行状況を一元的にモニタリング

⇒ 効率的な運行体制を構築

（都市運営の高度化）



2030年までのステップ

● 以下がステップを推進するポイントである。

- 第1フェーズにて、活動の3大要素であるスマートシティ・アイテム、ベースメントプラン、エリマネ・コアバリューの整備・方針整理を進め、第2フェーズにて自走できるモデルを構築する。
- 2021年度に自走を目的とした『持続化モデル検討会』を開催し、得られた知見を通じ体制整備を推進する。
- 毎年、年度の取組のプロモーションを実施する。

